

ウムチョ ムイーザ通信

No. 4 0

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



ご挨拶

2015年2月14日

日本での1ヶ月の訪問に感謝

チャールズ校長より

ウムチョムイーザ学園を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。

1992年青年海外協力隊員宍戸なつみさんとルワンダで出会ってからいつの日か日本を訪ねたいと夢に描いていました。特に2000年、当学園に子ども達を迎えてからはますます日本の皆様との交流を望んでいました。今回このような機会を与えていただいたことに感謝しております。

2014年12月、日本での1ヶ月の訪問で得た心に響いた経験は、これからの私の人生とそして当学園のために頂いたように感じました。そこで今回は初めての訪問で感じたおもしろい出来事を紹介したいと思います。

- 1 長い旅に驚きました。朝になり夜になりまた朝になり夜になり、キガリ空港からドーハ空港で乗り換え孤独なコミュニケーションが取れない旅で無事日本にたどり着けたのは奇跡のような気がします。飛行機の次は新幹線で福島に着きましたが、新幹線という乗り物も地上の飛行機のようなスピードにただただ驚くばかりでした。
- 2 温かく迎えていただいた日本の皆様に感謝します。日本の皆様の助け合う心、ち密な準備にあふれる愛を感じながら、ぜひこの心をルワンダでも見習おうと思いました。
- 3 1945年の恐ろしい原子爆弾によって罪のない人々が犠牲になった長崎広島に世界中の人々が訪れている姿を実際にみて心に響きました。これからもルワンダから平和を語ってゆきたいとあらためて誓いました。
- 4 伊達市霊山のお寺や会津の鶴ヶ城等分ち合う信仰やサムライのリーダーシップ、そして建造物の技術の素晴らしさなどすべてに高い水準の教育の塊を感じました。
- 5 幼稚園から大学までさまざまな学校を訪問させていただいて、男女平等・礼儀作法・充実した施設備品・整理整頓・清潔感あふれる教室等教育が学校だけでなく家庭から地域、そして日本全体のみんなの課題としてとらえられていることに感動しました。
- 6 多様な自然を取り入れ木を利用した住宅地や庭園そして食の豊かさに驚きました。またお茶の作法にふれ、あふれる優しさ清潔感そして品性の高さすべて素晴らしいと感じました。
- 7 ルワンダで出会ったなつかしい人々に日本で再会し、あらためてルワンダの子ども達が平和を創っていけるような人材に育てたいと誓いを新たにしました。



12月の寒さの中で過ごしたのは初体験でした。手袋・厚い靴下・セーター3枚重ね着・・・寒い季節でしたが、多くの心あふれる温かいおもてなしに感謝感謝感謝です。

この素晴らしい出会いに、明るい子どもたちの未来のために、争いのないジェノサイドのない平和を創り母なる大地を守る教育を続けることをあらためて誓いたいと思います。



ウムチョムウィーザ学園報告

ムタバズィ ティオネス教頭より

ウムチョムウィーザ学園を支えてくださっていることに心から感謝しております。2014年度1年間の学園歩みをお知らせさせていただきます。

1 年間計画

	1学期	2学期	3学期
期 間	1/6～4/4 13週間	4/28～7/25 13週間	8/11～10/24 11週間
休 み	4/5～4/27	7/26～8/10	10/25～1/25

2 2013年度の小学校卒業国家試験の結果

全員が合格しましたが一人だけ家庭の事情で入学することが出来ませんでした。

3 校内進級試験の結果

1年生は全員進級しましたが、2年生以上は成績が振るわず留年した児童が各学年3名程度おり、対策が必要です。

2014年度の小学校卒業国家試験の結果は、30名が受験し全員が合格することが出来ました。22名は名門校、8名が地元の公立校へ進学しました。

4 特別活動

危険ドラッグ撲滅活動・清掃活動に力をいれました。また、10月からカナダの音楽グループとの交流でフランス語の指導を始めたり、日本からいただいたハーモニカやリコーダーで10人の児童と3人の先生が演奏し、コンクールにて1位になりました。

5 校外活動

清潔検査を意識的に取り組み始めました。また、美術展・英語弁論大会・英語の作詞と音読大会・ルワンダ語の音読大会などに積極的に参加しました。

二人の先生が大統領杯サッカー大会の実行委員会に参加しました。子ども達は残念ながら予選で負けてしまいました。

6 遠足

高学年生は、ドイツの植民地時代の博物館・ジェノサイドメモリアル・虐殺の時亡くなった子ども記念館に行き、当時子どもだった語り部の方に話を聞いてきました。

幼稚園生は10月3日湖に行き、初めて見る広い湖と船に喜んでいました。

7 展示会

農業の展示及び体験学習・広島長崎原爆及び復興展を見学・絵画展・水の水質検査の発表会を開きました。

8 3月8月9月10月に日本から様々な目的で当学園にて授業を行っていただきました。

9 10月15・16日に10人のスタッフが指導法の研修を受講しました。

10 会議

6年生保護者(小学校卒業国家試験)・PTA役員会(学期末及び国の試験対策)・地教委との会議(教員の質や騒音防災交通事故等)・地域との懇談会(危険ドラッグ等健康と安全への取り組み)そしてそれらを受けての職員会議(不得意科目の個別指導や指導法研究問題児のフォロー等)を開催しました。

終わりに

私が教頭になって1年間たくさんの課題がありました。保護者の学校への協力・関心の低さや貧困の問題があります。良い成果を出すためには、保護者との連携を強める必要があります。また、英語で指導する教育言語の問題も直面しているので力を入れなければなりません。積極的なスピーチやワークショップなどのために保護者・学校・教師・地域とのチームワークを強めることが最大の課題です。

日本からの皆様の支援に感謝申し上げます。このような目標に向かって絆を強めて頑張っていきたいと思います。

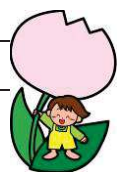


ワムチヨムィーザ学園の会計報告 2014年度3学期(8月～10月)

学費の納入状況の報告

*2014/12/31現在時価換算による。

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	12	19	18	22	16	16	18	19	15	155	1,718,540
その他	1	1	4	2	6	6	4	2	3	29	170,860
0%	6	4	4	15	13	11	6	6	12	77	0
合計	19	24	26	39	35	33	28	27	30	261	1,889,400
予算額											2,893,800
不足金額(日本からの支援額)											1,004,400



(1人あたり=65,000ルワンダフランを約11,087円に換算)

完納が前学期140名から155名へ! 0%が66名から77名!

2014年8月1日～12月31日会計報告



〔収入〕

〔支出〕

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費【前学期未収分も含む】	2,567,870	給料・手当	2,633,540	土地の評価	51,172
入学登録料	0	社会保険料	102,314	固定資産税	79,999
学校保険掛金	1,194	税金	362,821	備品購入	316,484
パソコン教室収入	84,434	職員食事代	70,608	給食プロジェクト	13,774
ピアノリース収入	58,728	光熱費	39,094	交際費	44,349
ユニホーム作成販売	0	通信費	43,241	銀行手数料	69,415
ユニホーム作成室賃貸	0	印刷費	112,629	校長日本渡航	116,490
多目的室賃貸収入	194,455	旅費交通費	151,410	パソコン教室	143,624
バス運行収入	0	会議・研修費	145,565	洋裁教室	60,639
水販売収入	2,635	施設維持費	175,726	銀行借入返済	511,723
ほかの収入	58,678	外部監査料	607,825	職員へ前貸し	85,287
考える会からの支援	2,353,050	医療費	5,544		
個人寄付	74,029				
補助金	0				
繰越金	1,351,270				
個人からの返済	302,874				
定期預金から	285,939				
		小計	4,450,317	小計	1,492,956
合計	7,335,156			合計	5,943,273



残金 1,391,883

日本から文科省インターンシップとして半年間オザキナツキさんを迎えることが出来ました。良き日本文化を教えていただきたいと期待しております。

てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれている照子さん
(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせ
します。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。

皆さんこんにちは！お元気ですか？

2015年新学期はどのような理由かわかりませんが、国の意向で1月26日から
始まりました。例年より2週間遅れの開始です。

昨年10月末に休みになったので、長い長い休みを経てようやくという感じがしました。
休みの11月、12月に、音楽授業のない他の小学校からの要望で、週に1回当校の
音楽室で、1年から5年生までごちゃまぜ学年35人余の、授業を行いました。
ピアノを初めて見る子供達は、カスタネットやタンバリンも初めて、目を
まん丸にして嬉しさいっぱい。同行の3人の先生達も子供達と一緒に、
歌い踊り打楽器を鳴らして、楽しんでおりました。



今回の授業が他の学校にも良い刺激となって、情操教育のないルワンダの教育に、
その大切さを知ってもらい、幼児教育や小学校教育に取り入れてもらえたらなあと、
切に思いました。

さて、昨年1年間は、子供達と私を補佐する先生達と一緒に教え、今年から、1年生の
授業を任せられる先生を育てる事を目標にして来ました。音楽の授業は、理科や算数国語
と違って、理論理屈抜きに音楽が大好きという感性があれば、「音を楽しむ＝音楽」という
低学年の授業はできます。

補佐の先生は初めてピアノにふれ、どうしてもピアノが弾けるようになりたいと、他の
教科担当の先生と一緒に、土曜日にバイエルから個人レッスンを始めました。

休暇中はレッスン中止、多忙な先生達の都合もあって、レッスン回数は少なかったの
ですが、ドミソ、ドファラ、シレソの和音が弾けるようになったら、間違ってもよいから
どんどん伴奏をしてもらいました。先生の意欲と、自分でも出来るんだという自信を引き
出して行ったのです。その結果、見事に音楽の先生が誕生しました。新学期の1年生の授
業を、第一回から彼女に任せました。今度は私が生徒になって、彼女の授業を受けるので
す。とても楽しい授業をしっかりとくれました。授業が終わると、いの一番に「ブラボ
ー！」と拍手して、彼女の努力を讃えました。

そのほか、今年度は私の授業を1クラス増やし、週に1回の「音楽クラブ」を誕生させ
ました。またまた新しい挑戦(?)の始まりです。

段階を踏みながら、確実に一步一步やり続けるのが私の心情なので、この歩みは
あの世に旅立つ日まで続くでしょう。

そして、次の世代を担う若者たちに、良き事をバトンタッチして行けるよう、心と体を
しっかりチェックしながら、いつもの「明るく楽しくおおらかに」をモットーに、皆さんと
一緒に分かちあいながら、歩んで参ります。今年もよろしくお願いします。



2015.2.9

それでは、また。お元気で…… IZUBA照子



なみえ平石-絆-プロジェクト

いわきの「ザ・ピープルの活動を知る会」に行ってきました。

阿部 貞夫

なみえ平石-絆-プロジェクトは、浪江町の仮設住宅(平石, 岳下)に住む皆さんの自立への第一歩として、いわき市で古着リサイクルに取り組むNPO法人ザ・ピープルの理事長さんの講演会を昨年12月開催しました。ルワンダの教育を考える会は、避難者支援の一環として、他の団体と連携してこのプロジェクトの応援をしています。今回は、お話を聞いた古着リサイクルの活動現場を実際に見学しようということで、1月16日(金)仮設住民の皆さんといわきにバスで行ってきました。その様子を報告します。

当日は、福島市の考える会の事務所を8時過ぎバスで出発しました。福島駅前を經由して、平石仮設、岳下仮設でなみえの皆さんと合流し、いわきへ向かいました。参加者は考える会の会員と、支援団体の方、なみえの仮設の皆さん合計24人。(男性は私ひとり)

大型バスなのでゆっくり気分。バスの中は、ルイズさんの元気なあいさつに始まり、ミカンやお菓子が配られ、おしゃべりしながら、ワキあいあい。



いわきに到着したのは予定より遅れ11時30分すぎ。早速、ザ・ピープルの方の案内で施設に向かいました。最初は、県内各地から送られてくる古着の集積所(倉庫)を訪問しました。ビニール袋に入れられた不要になった衣類が山のように積まれている状況に一同はビックリ。



集荷された古着の山



古着回収ボックス

県内39か所に設置された古着回収ボックスを通して回収される古着、宅配便で全国各地から送られてくる古着。その総量は年間250トンにもなるそうです。

ここでは、そのままバザーなどで販売できるもの、リメイク用、工業用ウエス用、その他車の内装材用などに区分され、それぞれの作業場へと送り出されます。

この一連の作業にかかわる人は70人と聞いていかに多くの皆さんがこの事業に協力されているか考えさせられました。

そのあと、市内ヨークタウン内の古着販売の直販店を見学。バザー販売、リメイク販売品を手にとって、価格の安さ、リメイク用品の完成度の高さに購入された方も多くいました。

昼食後は、東日本震災を受けて、いわき、広野で取り組んでいる、オーガニックコットンプロジェクトを見学しました。塩害にも強い綿を有機栽培で育て収穫することで、地域に活気と仕事を生み出すことを目指す取り組みです。手間のかかる栽培ゆえ地域外からもたくさんの援農ボランティアの協力があつたそうです。



コットン人形の実習

そこで収穫された綿を使い、コットン人形作りを実際に体験してきました。

初めはどんな人形になるか不安でしたが、背骨の部分をコットンで包み頭に帽子をかぶせ、綿の髪の毛をつけると、なんとカワイイ、コットン人形が完成です。

2個ずつラップをしていただき、記念に頂戴してきました。童心にかえった気持ちでつい夢中になり、完成した喜びも格別の一日でした！



完成した人形です

いわきでは、古着再生事業と人形作りを通して復興にかけるザ・ピープルの活動から多くのことを学びました。後日の仮設の皆さんの打合会では、早速仮設の古着活用の取組みについて話が進んでいるとのこと。

私たちの支援が、避難者の皆さんに夢を与え、大きく花開くことを願っています。

ルイズさんとの出会い

二本松岳下住民センター仮設住宅

鈴木ユキエ（89歳）

私がルイズさんに初めてお会いしたのは、浪江町で被災し仮設住宅に入って1年ぐらい過ぎた頃です。

『ルワンダのマリールイズさんという方が皆さんとお話したいということで集会所に来ますから、是非お話を聞きにきてください』と自治会長から話がありました。私は、正直どんな人が来るのだろうと思って、ルイズさんを見にいきました。

お話を始めたルイズさんは、日本語が上手で思いやりがあり、行動力のある人だと感心しました。いつも仮設住宅に来るとルワンダ産のコーヒーをご馳走してくれます。スタッフ4人ぐらいが手伝いに来て、昔話、歌、合唱などの楽しい時間を過ごします。

先日、ルイズさんがいわきへの旅を実行してくれ、私達にとってはとても勉強になりました。古着を再生して役に立つものにする話を聞いてびっくりしました。

ルイズさんの本当の仕事は、子ども達に人としての生き方、自分のふるさとを忘れない、人に迷惑をかけない、思いやりを持つ、悪いと思ったことはやらないということをお教えることです。

私達の仮設の人達も感謝していると思います。私は、ルイズさんとお会いしたことを一生忘れません。思い出の1ページとして心にしまっておきます。





【新年会】



ルワンダの教育を考える会恒例の新年会を1月17日（土）福島市働く婦人の家で行いました。みなさまのご支援・ご協力により進めてまいりました「スクールランチプロジェクト」、建物が完成しました。新年早々に給食室の厨房や備品の準備を行い給食をはじめます。



あわせてフェリシモ「地球の村基金」とアムダの支援を受け、保健室にベッドやPCを設置、保険医指導のもと保護者をまじえて子ども達の保健衛生の充実をはかっていきます。

また、学園の先生を日本に受け入れて情操教育を取り入れた教育カリキュラム導入、学園の自立へ向けた取組など・・・今年も夢に向けて一緒に歩んで行きたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

【ルワンダ写真展】

福島市コラッセ1F アトリウムで1月4日～8日までルワンダの教育を考える会の1年間の活動をパネル展示しました。

8日にはJICA 隊員村田ちずさんのルワンダ帰国報告会を行いました。ルワンダのブタレのろう学校で情操教育の普及活動をされて来ました。ウムチョムイーザ学園のアートフェスティバルにも関わっていただきました。



おいしいルワンダコーヒーを味わって ルワンダを応援してください！

200g

1個 1,200円

最小購入個数 5個

申込みは下記のメールでお願いします。

e - m a i l : info@rwanda-npo.org



ーお知らせー

学園建設・運営を始めてから15年目になります。平成26年11月15日今までの活動に対して当会に独立法人国際協力機構二本松青年海外協力隊訓練所所長北野一人様より感謝状をいただきました。



また、マリールイズに対して、平成26年4月27日国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョンガバナー遠藤妙子様よりルビー賞、平成26年8月4日外務大臣岸田文雄様より表彰状をいただきました。

これはひとえに支援してくださる皆様方のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。



ルワンダDAY in 福島

ルイズの講演&地球のステージコンサート
7月20日(月祝)開催予定
福島県教育会館

感謝の心をこめて
1年間の当会の
活動報告

精神科医をしている
桑山紀彦さんはこれ
まで 57 カ国を歩き、
国際医療救援活動を
展開してきました。

お知らせ

総 会 — 5月16日(土) 場所未定
当会発展のために多くの御意見をお寄せ
下さい。

☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金(奨学基金もよろしくお願いします。)

郵便振替口座: 02290-0-97126

加 入 者 名: NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在35名登録

ソーラー発電...ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座: 02200-2-77634

加 入 者 名: ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

福島第一原発事故の収束はまだまだ見通せず、約12万人が避難生活を続けています。震災から5年目に入りました。せめて、前へ前へ身近な人と助け合って心の復興を願いたいものです。 T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリールイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org